



マイシティモバラ

このコーナーでは、市内のできごとを写真と文章でお知らせします。

1/18 **ルールは分かりやすく、奥が深い!** 日本フェンシング協会による学校訪問プロジェクト

本納小学校にて、東京2020オリンピック フェンシング（男子エベ団体）金メダリストの宇山賢さんなどが講師を務めるフェンシング体験会が行われました。これは、千葉県と日本フェンシング協会が協力し、競技人口の増加や理解促進、魅力や素晴らしさを体感できるよう実施しているもの。

友達同士の試合や現役選手とのチャレンジマッチを体験し、一瞬の気の緩みも許されない攻防とタッチの差の勝敗に、会場は大盛り上がり！最後に代表の児童は「分かりやすく楽しく教えていただきありがとうございました」と感謝を述べました。



▲一瞬の隙を突け！



▲取材では何枚くらい写真を撮るんですか？

読み方を身に付け、自分の考えを伝える

「広報もばらを読もう」読者交流会

1/24

茂原小学校にて、「広報もばらを読もう」と題した読者交流会が行われました。これは国語科学習の意欲向上や主体的に読む力を育むため、5年生が11月から「広報もばら」を教材に学習してきたまとめの授業。

秘書広報課の職員が、広報の作成について書き手の意図や工夫している点などを説明すると、児童は字体や色を変えているのは何故かなどの疑問点や、どのような思いで広報を作成しているのかを質問。書き手と読み手による交流会は有意義な時間となりました。

1/25 **コラボ商品開発に向けて、高校生がアイデアを提案!** 課題探究型キャリア教育ゼミ

市内の県立高校3校（茂原樟陽高校、長生高校、茂原高校）の生徒が、現在、茂原市の新たな商品開発を検討している農産物直売所「旬の里ねぎぼうず」（役員・新商品開発委員会委員）に対して、“本市にちなんだ商品開発”をテーマにアイデアを提案しました。

ジビエ料理と市内産の米を活用したライスバーガー、名物の鯛ちょうちんや本納絵馬に着想を得た加工品などの斬新なアイデアを提案。コラボ商品の完成に向けて、期待が高まる内容となりました。

今後は、市農政課も共同して、この提案を取り入れた商品開発を進めていきます。



▲委員の方も真剣な眼差しで提案を聞きます



▲最優秀賞を受賞した岡村さん（右）と松本会長

祝最優秀賞「自治会でつなぐ地域の思いやり」

令和5年度自治会標語コンクール

1/26

茂原市自治会長連合会（松本光男会長）が開催した自治会標語コンクールで、岡村柚季さん（二宮小学校）の作品が最優秀賞に輝き、松本会長から賞状と記念品が手渡されました。

岡村さんは「思いやり」を「道で困っている人がいたら声をかけて助けられること」と話し、作品への思いと受賞の喜びをかみしめました。

